

事業所名 フルー70ホーム ひがしん

作成日: 平成23年 9月23日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	家族との話し合いの段階の中で、重度化に事業所が対応できる最大のケアの説明書、重度化に伴う意思確認書等で、家族の理解を得、共有できたチーム支援の連携を期待する。	早期に重度化にむけた家族の意向の確認 対応駐車場	利用者の状況を見ながら必要に応じて、重度化した場合や看取りについての希望を家族と話し合う場をもつ、また専用の用紙を作成し記録する。	6カ月
2	49	一人ひとりが外出を楽しめるように、重度化・高齢化している利用者に合わせた移動の配慮と、利用者の状態・習慣・有する力・希望・地域の状況などを考慮し、遠出ではなくても、事業所の外に出る機会を増やすなどの工夫が期待される。	日常的な外出の支援。	屋上の家庭菜園の収穫や、洗濯干し等の生活リハビリ、夕涼み等や地域への散歩など日常の中での少しの外出の機会を増やしていく。	6カ月
3	40	おやつ作りに加えて、利用者とメニューを相談したり、調理、盛り付け、片付け等ができる機会を計画し、実践できるよう期待する。屋上の菜園が活用できる季節には、事業所の計画がさらに進むことを期待する。	食事を楽しむ機会を増やす。	レクリエーション委員会を通した月2回のおやつレクの実施、盛り付け・お盆拭き等、入居者に役割を持ってもらえるように支援していく。またアンケートを取り、好きな食べ物や味付け等の意見を調べ取り入れる。	6カ月
4	6	一人ひとりに予測されるリスクを、家族等と率直に話し合っ、利用者の安全と自由を守れる支援の取り組みについて理解を得ていく試行が期待される。	施設について家族と話し合い、今後の方針を決める。	家族会や家族来所時に施設についてのメリット・デメリットを話し合い、今後の方針を決める。	6カ月
5					カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。
評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出して下さい。(提出必須)